

桃井第四小学校

笑顔輝くコミュニティスクールをささえる！ ももし図書館

今の学校図書館

本校は地元の強い願いで開校された経緯から、地域との繋がりが大変深く、コミュニティスクールとして常に地域の人々とともに学校活動が行われている。盛りだくさんの行事・イベントに全力で取り組む子どもたち、先生方の縁の下での力持ち的存在。必要な情報を得たい時にすぐ駆け込める場所であり、楽しい本にたくさん出合える癒しの場所でもある。



学校図書館の運営

- ・調べ学習・探究学習に随時対応できる蔵書構成を目指して選書している。
- ・各学年担任に学期ごとの学習内容に沿った図書資料活用例・蔵書状況をプリントで知らせている。
- ・PTA とも連携し、カーリル（蔵書検索システム）のURL を PTA 会員用 HP に掲載している。
- ・本の森（本の修理など）・飾り付け・読み聞かせの3つのボランティアの協力を得て、より利用しやすい、居心地のよい読書・図書館環境を作っている。

1 年間の主な活動

- ・朝読書・朝開館（通年・木曜日）
- ・読書旬間（年2回）
- ・ボランティアによるよみきかせ（朝）・飾り付け
- ・学校支援本部によるサマープランイベント（夏休み中）『本の森であそぼう！』～読み聞かせ・クイズ・工作
- ・夏休み開館（プール期間中）・蔵書点検（夏休み）



特色ある取組

◎課題図書「ももしの10冊」

自由参加だが、10冊読むごとに、「もう一冊かりられる券」がもらえるのを励みに多くの児童が楽しく取り組んでいる。

◎読書旬間～図書委員企画の工夫

「読書ゆうびん」恒例企画となり、他学年の人との交流を楽しみに書く児童も多い。

「おすすめの本の花（雪だるま）」おすすめの本の名前を花（雪だるま）のカードに書いて貼り出す。これを見て本を選ぶ良い参考になっている。カード作りは、本の森ボランティアにお願いしている。「本さがし＋読書クイズ」指定された本を、ラベルのヒントから探し出し、その本を読んでクイズに答える。これらのミッションをクリアできると「もう一冊かりられる券」がもらえる。図書委員が企画を工夫してクイズを作り、意欲的に活動している。

これからの学校図書館

・タブレット端末を児童全員が持つようになって3年が過ぎ、インターネット中心の情報検索が特に高学年で増えている。児童が、本、インターネット両方を上手に使うって探究的学習ができる図書館を目指す。

・本ならではの良さを伝え続ける。本が好きな児童はもっと好きになるように、苦手な児童も読書の楽しさに気づけるよう働きかける。また、本を通して心を落ち着ける場、リフレッシュの場ともなるよう環境整備を続ける。